

★ 信州のプログラミング教育を牽引する Makersフェロープログラム

急速に変化する現代社会において、私たちは予測不能な未来に直面しています。AIやIoTといったテクノロジーが私たちの生活に深く浸透し、社会構造そのものが大きく変化してきており、自ら考え、創造することや、問題発見・解決能力などの資質・能力が大切になってきています。

Makersフェロープログラムでは、急激に変化する時代の中で子どもたちに育むべき資質・能力にむけて、プログラミングの良さ(トライ&エラーがやりやすい、答えも道筋も複数ある、子どもが主体的に多様な解決策を模索しやすい等)を入口として、自分の授業観を振り返りながら、授業づくりについて、講師の先生からも助言をもらいながら、みんなで考えていく研修です。

主催:長野県教育委員会

協力・協働:MITメディアラボ ライフロングキンダーガーテングループ Learning Creative Learning(LCL)プロジェクト

信州大学教育学部村松浩幸研究室、小倉光明研究室/株式会社アソビズム 未来工作ゼミ/Simon Fraser大学



研修期間・内容(令和6年度の内容)

◆4月27日(土)、28日(日) 『キックオフ講座』(オンライン開催)

◆5月～7月(2週間に1度) 『定期チェックイン』(オンライン開催)

「クリエイティブラーニングの活動をデザインしてみよう」

プログラミングを入口に、みんなで活動を体験したり、考えたりします。

◆9月～12月(2週間に1度) 『定期チェックイン』(オンライン開催)

「みんなで授業アイデアを考えよう、考えた授業に挑戦してみよう」

5月～7月の活動を参考に、授業のアイデアを考えたり、その授業に実際に挑戦したりします。

◆1月 『成果発表会・まとめの会』(オンライン開催)

「1年間の研修のまとめを共有しよう」 挑戦した授業について発表し、それぞれの先生の授業実践から学び合います。

信州Makers教室(6月)、信州Makersキャンプ(8月)の見学

ICTや数学、科学、技術、美術などの力を融合させて、他者と協働しながら新たなアイデアを生み出し形にする「新たな学びの場」として、信州Makers教室・キャンプを開催しています。令和6年度は、総勢100名を超える小・中学生が参加しました。Makersフェローに参加している先生方も見学に来て、子どもと一緒に学びました。

信州のプログラミング教育を牽引する

Makersフェロープログラム

★プログラミングの良さを入力として、自分の授業観を振り返りながら、授業づくりについてみんなで考える研修です。オンラインやクラウドを活用して進めていきます。

「オンラインでの研修やプログラミングの経験がないから…」
と、心配する必要はありません。

講師の先生方、Makersフェロー事務局がしっかりフォローいたします。



講師の先生方（令和6年度）

- ◆ 信州大学教育学部 村松浩幸 先生 小倉光明 先生
- ◆ Simon Fraser大学 村井裕実子 先生
- ◆ (株)アソビズム の皆さん

Makersフェロー事務局

- ◆ 長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課

